



経済、金融、財政、為替

令和6年10月24日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

健全な財政と経済への回帰は、その計画的な経済政策とともに、新たな未来への参加を必要とする。また金融システムの転換は、新たなデジタル経済への転換へ、その効率的なシステムの育成を提案するものである。

これらは経済の再興と健全な財政環境の構築において、強い経済と健全な財政における新しい国家の基盤の育成を要求されるものである。

これらは政治のリーダーシップにおいて、今日の変化へ正しい経済政策を要求し、経済の独立性と自立、また時代変化への全ての産業の転換と対応、財政の破綻的状况に対する正しい財政政策の要求、金融のグローバル化へ、金融の独立性の回復とその健全な金融ライフラインの整備などを要求されるものである。

これらは、現実の転換を明確に行うものであり、それらは政治が英断において現実の永続を転換することを求められるものである。

これらはビジョンと計画を早急に求め、それらを現実化することで、これら現実の実現を行うことができるものである。

また巨大資本が思惑で為替操作を行うなどの現実へは、資本的な基盤を要求し、為替の健全性の構築、健全な経済ルールにおけるグローバル市場への参加などを求められるものである。

これらは現状の理解は、危機感の共有を求め、新たな現実への転換を要求する。これらは財務と経済産業省のリードとともに、抜本的な転換や経済政策の作成において、新しい現実への対応を実現することを提案したい。

また次世代という新しい潮流へ、経済、金融の転換と新たなシステムと枠組みの構築は、既存現実から、その有効性や効率性をシステムと技術の導入において、抜本的な転換を牽引し、全ての現実を時代へ適合されることを要求されると考える。